

ボランティアクレジット プラットフォーム 企業最新動向(2023 年 1 月)

2023 年 1 月 31 日

DAC プロジェクトによる CO2 除去への証書発行

REDD+におけるクレジット過剰発行を指摘する記事に反論が相次ぐ

DAC プロジェクトによる CO2 除去への証書発行

スイスの DACCS(大気 CO2 直接回収貯留)専門ベンチャーの Climeworks が、2021 年 9 月からアイスランドで実施している Orca プロジェクトによって大気中から除去された CO2 に対して証書を発行した。

通常のオフセットクレジットとは異なり、Climeworks 社がコンサルタントと共同で策定した方法論に基づき、モニタリングを行い、第 3 者機関として DNV が確認した上で、証書として発行した。計 6700tCO₂e 余りの除去量に対して発行された証書は、出資者の Microsoft、Shopify、Stripe らに提供された。

Climeworks 社の Orca プロジェクトは本格的な DACCS プロジェクトとしては世界初のもので、施設を稼働させるための電力を隣接する地熱発電を用い、CO₂ の回収、貯留にあたっても CO₂ を排出しないことが特徴となっている。Orca プロジェクトの回収・貯留能力は年間 4000 トン tCO₂e となっているが、Climeworks 社は昨年、アイスランドに 3 号プラント(36,000tCO₂e/年)米レイジアナに 4 号プラント(100 万 tCO₂e/年)建設計画を発表している。カーボンニュートラル実現には CO₂ 除去技術が必須と指摘する声が多く、今後、このような DACCS プロジェクトがどれだけの実績を挙げられるのか注目が集まる。

REDD+プロジェクトの信頼性を疑問視する報道に Sylvera 社が反論

2023 年 1 月 18 日、英国紙、ガーディアンが REDD+プロジェクトが過剰にクレジットを発行しているとの研究成果を紹介し、REDD+プロジェクトの信頼性を疑問視する記事を公表した¹。記事が紹介している研究論文によれば、

¹ Revealed: more than 90% of rainforest carbon offsets by biggest provider are worthless, analysis shows . The Guardian. Jan 18, 2023

REDD+プロジェクトの94%は実際の排出削減量には貢献しないプロジェクトに由来するものとされている。

これに対して、批判の対象となっている REDD+プロジェクトの登録、クレジット発行を行っている Verra がすぐさま反論する声明を発表したが、それ以外にも、クレジットを創出するプロジェクト開発事業者、プロジェクトの信頼性の格付け企業などが相次いで記事に対して反論する声明を発表した。

中でもクレジットの格付けを行っている Sylvera 社は、REDD+プロジェクトがクレジットを過剰に発行しているとの分析を行った論文について、その手法の妥当性を疑問視している²。特に、synthetic baselines と呼ばれる手法については、プロジェクトサイトと物理的な条件（道路からの距離、河川、居住地、傾斜など）に類似した代理(proxy)を設けた上で分析を行なっているが、この手法では、プロジェクトサイトでの実際の森林破壊の状況が考慮されていない、と指摘している。

Sylvera 社は、既にプロジェクトの格付けを行うために多くのプロジェクトを評価しており、その結果、現在の REDD+プロジェクトのうち31%程度は質の高いプロジェクトであり、それらのプロジェクトからは、実際に排出削減を達成した上でクレジットが発行されていると述べている。その一方で、25%のプロジェクトについては“ジャンク”との評価を下し、すべてのプロジェクトの信頼性が確保されている訳ではないことも認めている。

このように、REDD+プロジェクトの信頼性を疑問視する見解もあるものの、一概に全ての REDD+プロジェクトの信頼性は低いと断定することは出来ない。しかし、REDD+プロジェクトへの信頼性への疑問は、クレジットの取引にも影響を及ぼし始めている。ある REDD+プロジェクトについて、オランダのジャーナリストが過剰なクレジット発行が行われているとの調査結果を公表したことを受けて、該当するプロジェクトに関与している事業者が、クレジットの販売を停止したとの報道もなされている。

大規模な排出削減量を見込める上に、CO₂ の除去にも貢献しうるものであるため、REDD+プロジェクトへの期待は高いが、その一方で、クレジットの購入にあたっては、信頼性が完全に確保できているのか慎重に見極める必要性もあると言えるだろう。

<https://www.theguardian.com/environment/2023/jan/18/revealed-forest-carbon-offsets-biggest-provider-worthless-verra-aoe>

² Allister Furey “Sylvera response to The Guardian’s Analysis of Rainforest Offsets”
January 19, 2023

<https://www.sylvera.com/blog/guardian-offsets-response>

2023 年1月のボランタリークレジットに関する企業の動向

国名	ニュースヘッドライン	出所	日付
国際	世界最大級の銀行のいくつかは、新しい取引ネットワークを使って自発的な炭素市場の拡大に向けて準備を進めている	Carbonplace press release	2022-12-19
日本	国内カーディーラー初「アウディ浜松」電気・ガス CO2 排出量実質ゼロを達成	サーラコーポレーションプレスリリース	2022-12-22
日本	クボタのプロジェクト、J-クレジット制度の認証を取得ヒートポンプ空調導入による農業用ハウス栽培の CO2 削減	クボタプレスリリース	2022-12-26
日本	福浦漁業協同組合、東京大学とブルーカーボンに関する共同研究開始のお知らせ	伊藤忠エネクスプレスリリース	2022-12-26
国際	スイスの DACCS 専門ベンチャー Climeworks、世界初の CO2 除去証書を発行	Climeworks press release	2023-01-12
アメリカ	カリフォルニア州を拠点とする海水 CO2 除去ベンチャーの Captura (ノルウェー国営石油ガスのイクイノール等から 1200 万ドル資金確保	Captura press release	2023-01-12
日本	カーボンニュートラル対応の地盤改良工法を開発	清水建設プレスリリース	2023-01-13
世界	Goldman Sachs と Bank of America、環境市場向けプラットフォーム「Xpansiv」に出資	ESJ Journal	2023-01-16
シンガポール	ファーストムーバーズコアリション (FMC) メンバートラファルガー社、2030 年までに 5 万トンの CO2 除去クレジット購入をコミット	trafigura press release	2023-01-16
韓国	SK、UAE と炭素中立協力…民間排出権市場を構築	Money Today	2023-01-16
日本	「びわ湖カーボンクレジット倶楽部」が国の J-クレジット制度に登録	滋賀県	2023-01-17
国際	REDD+プロジェクトにクレジット過剰発行の疑い	The guardian	2023-01-18
国際	ボランタリークレジット格付け会社、sylvera 社、REDD+プロジェクトが過剰にクレジット発行しているとの報道に反論	Sylvera press release	2023-01-18
国際	シェル、ボランタリークレジット市場、2030 年までに5倍に成長すると予想	ロイター	2023-01-19
日本	ブルーカーボン・オフセット推進事業「尾道の海のゆりかご (干潟・藻場) 再生による里海づくり」について	尾道市	2023-01-19
アメリカ UAE	米サウスウェスト航空、UAE エティハド航空、カーボンクレジット長期調達を計画	Carbon Pulse	2023-01-19
国際	クレジット過剰発行の疑いが持たれた REDD+プロジェクト、クレジットの販売を停止	Carbon Pulse	2023-01-27

(文責) 小松 潔 (日本エネルギー経済研究所)

(情報収集) 岡村俊哉、片山敬太 (日本エネルギー経済研究所)